

協同

[特集] 組合員の信頼に応えるための個人情報管理
～管理強化にむけた方策事例～

2022
Aug
KYODO

8



兵庫の農業人
Hyogo-nougyoujin



タッグ!兵庫の農業人

酒米の王者 山田錦の
品質向上・安定生産に取り組む

Farmer × JA staff
藪西 史丈さん
井上 貴男さん
詳細は
裏表紙へ

兵庫の農業人

生産者の皆さんとタッグを組んだ
多様な営農活動を紹介します。

タッグの様子は動画でも配信中心! ▶

▶ YouTubeで 兵庫の農業・農協発信ch 検索



今月は JA兵庫みらい

酒米の王者 山田錦の 品質向上・安定生産に取り組む

山田錦の苗の生育状況について話す藪西さん(左)と井上さん



生産者

山田錦生産者
株式会社 稔樹 取締役
藪西 史丈さん

地域農業を守るために、生産・加工・販売まで全て行う6次産業を積極的にすすめています!山田錦バウムで、農林水産大臣賞を受賞できるように頑張ります!



JA職員

JA兵庫みらい 営農経済部
あぐり創生課 TAC係
井上 貴男さん

酒米の王者である山田錦をこれからも守り続けるために、栽培講習会の開催や栽培指導を行い、生産者と一緒に山田錦の生産拡大を盛り上げていきます!また藪西さんのような山田錦を使った加工品を製造する生産者を今後増やしていきます!



JA兵庫みらいの自然環境は、昼夜の寒暖差が大きく、粘土質で水はけの良い土壌を生かした酒造好適米「山田錦」の栽培が盛んで、様々な日本酒に使用されている。

三木市志染町の藪西史丈さんは、7年前に就農し、約13haの農地で、山田錦や黒大豆、もち麦などを栽培している。コロナ禍により酒米の需要が減少した状況の中で、米粉専門の菓子製造業者とともに株式会社「稔樹」を立ち上げ、山田錦を使ったスイーツの製造、販売を手掛ける6次産業に取り組んでいる。特に山田錦を100%使用した「山田錦バウム」は、同地区の直売所などで販売し、人気を集めている。

良質な山田錦を安定して栽培するためには、適切な時期に収穫する必要がある。同JAは、収穫適期診断の効率化、品質平準化を実現するため、5年前に、兵庫県立農林水産技術総合センターが開発する収穫適期診断スマートフォンアプリ「Grains Cam(グレインズカム)」の試験に参加し、4年前から本格導入している。従来、職員が目視で収穫時期を判断する方法では、労力を要し精度に個人差が生じていたが、このアプリでは稲を撮影すると黄熟度合いから収穫適期を瞬時に診断することができる。地区ごとにアプリの診断結果を記入した「適期旗」を立て、対象地区の生産者に適期の収穫を促すことで、同JA全体で良質な山田錦生産につなげている。

同JA営農経済部の井上貴男さんも、このアプリを使用し栽培指導を行っている。アプリの使用と自身の経験を踏まえ、効率的に適期診断を行うことで、導入以前よりほ場を訪問する時間を有効利用し、より効果的な栽培指導や情報提供を行うことができた。また生産コストの削減のため、適正な施肥で安全・安心な農作物を栽培するためのアドバイスも行って

いる。藪西さんは井上さんについて「栽培方法や肥料のことで困ったときに相談することができ、頼れる存在だ」と話す。

同JAは、今後もアプリを活用した収穫適期診断や山田錦栽培講習会、栽培指導等を行い、山田錦の品質向上と安定生産をめざす。

JA兵庫みらいの山田錦の品質向上・安定生産へ向けた取組み

山田錦の品質向上・安定生産に向けて、
スマートフォンアプリ「Grains Cam」を活用した
収穫適期診断や栽培講習会などを行う。